

商学部 マーケティング学科 専門教育分野 TLO:Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				講義 演習 実習 PBL など										
学科内 専門 共通 科目	商学概論	M-CME102	100	講義	4	○	流通やマーケティングを勉強するための基礎科目として、商業の基礎を学修し、その全体像を把握するための学修を行う。	商業の仕組みが分かるようになり、これから始まる専門科目への学修意欲が一層高まる。	㊦	○	○		㊦	
	ファイナンス概論	M-ECN109	100	講義	4	○	経済における金融の役割、経済の発展と金融がいかに関わるか、について基本的考えを学ぶ。	決済制度、投資と資本蓄積、マクロ経済と金融の関わり、金融市場の役割について理解を深める。		㊦	㊦		○	○
演習・卒業論文	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	○	主体的、能動的に研究・調査等を行うための基礎を修得する。	研究・調査の楽しさを経験し、調査・研究を主体的に企画できるようになる。			○	㊦	○	㊦
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	○	個人研究または共同研究として、主体的、自律的に研究・調査等を実践する。	主体的に調査・研究を企画、実践し、その成果を報告できるようになる。			○	㊦	○	㊦
	卒業研究	M-SEM401	400		2	○	専門演習における学修・研究・調査等の成果(研究成果)を、論文・報告書等の形で作成する。	科学的・学術的な形式を備えた論文や報告書を執筆・作成できるようになる。			㊦		㊦	○
マーケ テ 流 イ 通 ン グ 分 野	商業史	M-CME103	100	講義	4		ビジネスやスポーツの世界で活躍するヒントを身に着けるために、歴史上の有名な人物がどのような戦略や戦術を使って競争を勝ち抜いたのかを学ぶ。	ビジネスの世界で必要な戦略的思考力や意思決定力などを身につけることを到達目標とする。	㊦	㊦	○		○	
	貿易論	M-CME205	200	講義	4	○	最近の国際貿易をめぐるトピックを題材にして、貿易理論や貿易制度政策について学修する。	国際貿易の基礎理論を理解し、貿易制度政策の現実問題について検討する。	○	㊦	○	㊦		
	マーケティング論	M-CME209	200	講義	4	○	マーケティングに関する基礎的な知識を習得し、実務におけるさまざまなマーケティング課題に対する洞察力を養うための学修を行う。	新聞や雑誌で取り上げられるマーケティングに関する記事を読んで理解できる。		㊦	○	○	㊦	
	流通論	M-CME210	200	講義	4	○	流通についての基礎的な知識を学び、流通の仕組みや社会的な役割を理解して、実務の現場での対応能力を高める学修をする。	日々利用している流通業に対して興味や関心が持てるようになり、流通の変化と動向を理解することができる。	○	㊦	㊦		○	
	マーケティングコミュニケーション論	M-CME211	200	講義	2	○	MC論の基本を学びつつ、事例を数多く取り上げていきながら、可能な限り実態に即した学修を行う。	事例から疑似体験することによって企業でおこる様々な問題解決に対応する分析・提言ができる。		㊦	○	㊦		○
	サービスマーケティング論	M-CME212	200	講義	2	○	モノの経済からサービス経済へという大きな社会変化の中で、サービスに対する理論構築とその実践について理解する。	物財に対する理論とサービスに対する理論との相違を理解し、実践における分析と対応ができる。	○	㊦	㊦	、○		
	マーケティングリサーチ	M-CME213	200	講義 (実習付き)	4	○	消費者や市場を分析するための概念や理論、各種測定技法を学びながら、マーケティングリサーチへの理解を深めるための学修を行う。	マーケティングリサーチの知識を理論と技能の両面から習得し、マーケティング現象を分析するための能力をつける。		、○	㊦	㊦	、○	
	マーケティング戦略論	M-CME214	200	講義	4	○	マーケティング戦略を体系的に理解するとともに実際の企業の戦略をケースとして紹介し、親しみやすく身近に感じするための学修をする。	マーケティング戦略の基本から事例研究までを体系的に理解し、社会人として不可欠なマーケティング知識を修得することができる。		㊦	㊦		○	○
	消費者行動論	M-CME215	200	講義	4	○	消費者を分析するための概念や理論を学びながら、マーケティングに対する理解を深めるための学修を行う。	消費行動研究に関する専門性を高め、マーケティング現象を多角的に分析する能力を高める。		㊦	㊦	、○	、○	
	商業・流通政策	M-CME216	200	講義	4	○	様々な社会的な政策課題について理解を深め、ディベート形式で肯定・否定の議論を行う。	政策課題に対する自己の調査力、分析力、立論力、他者への反論力、プレゼン力をつける。		○	○	㊦		㊦
	マーケティングワークショップ	M-CME217	200	講義 (実習付き)	4	○	流通・マーケティング分野の集大成として実践的な能力を高めることを目的とする。	実際のマーケティング問題に対して、チームとして戦略を練り上げ、提案していく能力を高める。			㊦	㊦	○	○
	製品ブランド論	M-CME309	300	講義	4	○	ブランドの本質を理解し、企業のブランド戦略についての基礎的な知識を習得する。	企業のブランド戦略を多面的に分析し、見解を述べる力をつける。		㊦	㊦	○	○	
	貿易実務	M-CME311	300	講義	4	○	貿易についての一般的な知識の他、商取引、国際物流、輸出入通関手続等について学修する。	個人による通販から商社等による大規模商取引まで、貿易実務全般に関し基礎的な事柄について理解できる。	○	㊦	○	㊦		
	グローバルマーケティング論	M-CME302	300	講義	4	○	グローバルマーケティングの概念を習得し、グローバルな競争環境の中における企業のマーケティング活動を学修する。	抽象的な概念より、現実の事例と結びつけてグローバルなマーケティング視点で考える力がつく。		㊦	○	㊦	○	
	経営学概論	M-MNG102	100	講義	4	○	経営学とは何かを知り、経営学の基礎知識を習得することで企業経営についての理解を深めるための学修を行う。	経営学及び企業経営についての基礎知識の習得し、自分の意見を述べることができる。	㊦		○		㊦	○

授業科目 区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				講義 演習 実習 PBL など										
							授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に着けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に着けている。	主に市場環境変化に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、市場問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができることにも、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
経営分野	経営管理論	M-MNG207	200	講義	4		経営管理の思想的側面と各理論が導出された社会経済状況を知り、経営実践に必要な管理課題に対する問題解決能力を養う。	経営管理の理論発展に関わる時代背景・時代精神と共に、主要な論点と概念を理解し説明できる。	◎	○	○		◎	
	経営戦略論	M-MNG208	200	講義	4		「経営環境の分析」や「事業戦略の構築」の二部によって構成される。経営戦略の基本概念から始め、経営戦略を行うための様々な基本理論や知識を習得すること。	企業を取り巻く環境の変化を理解し、経営戦略の基本理論や戦略策定ツール（フレームワーク）を習得する。	◎	◎	○	○		
	スポーツ組織論	M-HES400	400	講義	2		国内外のスポーツ組織の将来性・現状、情報等を理解し、スポーツ組織をどのようにマネジメントすべきかを考える。	スポーツ組織の運営や活動促進のために、必要とされる人材、期待される役割がどのようなものかを考察し、実践する能力を身に付ける。		◎	◎		○	○
	地域金融講座（阪能信用金庫寄附講座）	M-ECN111	100	講義	2		私たちの生活と金融とがどのような関わりを持っているのかを、身近な地方金融機関の実務者から学ぶ。	実際の業務を踏まえた地域金融機関の使命と役割への理解を深めることを目標とする。	◎		◎		○	○
	ファイナンス・アナリティクス	M-ECN224	200	講義	4	○	入門レベルのファイナンスを題材として、Excelを用いた分析を行う。そのために、基本的なExcelの操作や基礎的な統計処理について演習形式で修得した上で、最終的には各自がファイナンスに関連する分析を行う。	Excelの基本操作を修得しデータを用いた分析を行い、データやツールの取扱いに慣れることで、プロジェクト演習やその他の分析ツールの利用、及びビジネスにつなげる。		◎	◎		○	○
	アドバンスト・ファイナンス	M-ECN356	300	講義	2	○	中上級レベルのファイナンスを解説。そして、実際の投資戦略や最近のファイナンスに関連するビジネス課題も理解する。	中上級レベルの標準的なファイナンスを修得し、ビジネスでの応用につなげる。		◎	◎		○	○
	ファイナンス	M-ECN231	200	講義	4	○	ファイナンスについて学ぶ。	ファイナンスに関する理解を深める。	◎	○	○		◎	
	金融システム	M-ECN234	200	講義	4	○	金融システムとして中央銀行を中心とした金融制度について基礎事項を学ぶ。	通貨決済制度、インフレーション、マクロ安定化政策としての金融政策を理解する。	◎	○	○		◎	
	国際金融	M-ECN235	200	講義	4	○	国と国との間の金融取引を国際金融であり、国際金融ならではの概念や言葉の定義について学ぶ。	国際収支や為替レート、金融と関係のある範囲で実物取引についても理解する。	◎	○	○		◎	
	ファイナンシャルプランニング論	M-ECN329	300	講義	4		ファイナンシャルプランニングについて学ぶ。	ファイナンシャルプランニングに関する理解を深める。		◎	◎		○	○
	ファイナンシャルマーケット論	M-ECN330	300	講義	4		現代の経済には不可欠であるファイナンシャル・マーケット（金融市場）について理解を深めるための学修を行う。	企業と金融市場の関わり、金融取引におけるリスク、金融仲介、証券金流通市場について理解する。		◎	◎		○	○
経済分野	ミクロ・マクロ経済学	M-ECN105	100	講義	4	○	標準的な入門レベルの経済学としてミクロ経済学とマクロ経済学をコンパクトに解説。そして、経済統計といったビジネスでの活用に関連する基礎的な内容を理解する。	初級レベルの経済学を修得し、より上級レベルの学習やビジネスにつなげる。	◎	○	○		◎	
	国際経済学	M-ECN210	200	講義	4		現代の複雑な国際経済の構造について理解し、国際経済に関する重要記事を適切に理解することを目指す。	国際貿易論、国際金融論の基本的な内容を理解し、国際経済問題について貿易、国際金融の両面から、理論的ツールを用いて考察できる。	◎	○	○		◎	
	財政学	M-ECN211	200	講義	4		税制改革や財政赤字削減のような、重要な財政問題について、現状や歴史、より根本的・体系的な側面、解決策を学ぶ。	税制改革や財政赤字削減などについて、現状や歴史、経済学的な視点、解決策について、説明や判断ができるようになる。	◎	○	○		◎	
	公共経済学	M-ECN208	200	講義	4		公共経済の重要な課題である、市場の役割と限界、市場制度を補完するための公共部門・政府の役割、市場の失敗と政府の失敗等を学ぶ。	市場機構のメリットとデメリット、市場を補完する政府の役割、市場の失敗と政府の失敗、公共経済問題の本質・解決方法について議論できる。	◎	○	○		◎	
	日本経済論	M-ECN326	300	講義	4		経済理論をどのように経済データあるいは判例と結びつけて考えるかを学ぶ。	現実の経済について理論的かつ合理的な説明ができるような能力を身につける。		◎	◎		○	○
	産業経済論	M-ECN318	300	講義	4		産業組織論の基礎であるミクロ経済学、とくに競争と独占の理論を理解し、市場における企業間競争の分析を学び、競争促進・独占禁止の政策を考える。	以下のテーマについて、各自で学んだ成果を発信できる。産業組織論の基礎である競争と独占の理論、市場における企業間の競争、競争促進・独占禁止の政策、など。		◎	◎		○	○
	社会経済システム論	M-ECN232	200	講義	4	○	社会経済システム論の基礎知識を学んだのち、進化的な理論構成の可能性について検討する。	さまざまな社会現象・経済現象をシステム論的な観点から理解できるようにする。	◎	○	◎		○	
	福祉の経済学	M-ECN334	300	講義	4		経済学の視点から、福祉とは何か、所得格差と貧困、年金・医療等の社会保障、労働と生活水準、人間の安全保障などのテーマを学ぶ。	人間の経済活動と労働・所得・生活水準等の問題について主体的に学修し意見を述べることができ、他者と議論を行い、建設的な提言を行える。		◎	◎		○	○
	都市経済論	M-ECN233	200	講義	4	○	都市内の土地利用を取り巻く外部性（混雑、公害など）の内部化（解決）手法に関して理解を深める。	都市環境の改善のために何をすれば実現可能な対策になりうるかを考えられる。	◎	○	◎		○	

授業科目 区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				講義 演習 実習 PBL など			授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に着けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に着けている。	主に市場環境変化に関するデータを収集し、それをもとに論理的に思考し、市場の課題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができること、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
	地域経済社会事情(中東)	M-ARS220	200	講義	4	○	中東を手掛かりに現代世界に大きな影響を与える社会・経済の動きとその背景を捉え、地域経済の特性と可能性を多角的に理解する。	中東地域に関する知識を習得し、異文化世界との共生力と多様性を活かすような社会・経済のあり方を考えられるようになる。	◎	◎	○		○	
	地域経済社会事情(人の移動と地域)	M-ARS221	200	講義	4	○	人の移動を軸に、現代世界の都市化や地域の再編を理解し、地域をつくる多様な社会経済的仕組みとその課題・可能性を学修する。	人びとの生活の場から地域を理解し、地域に起こる諸問題・現象から社会経済的課題と可能性を理解し、説明できる。	◎	◎	○		○	
	地域経済社会事情(東アジア)	M-ARS222	200	講義	4	○	韓国社会が直面している諸課題について、ミクロ及びマクロ経済学の観点から理解する。	身近な経済トピックを中心に、韓国の経済問題を理解し、日韓経済関係の在り方について意見を述べる。	◎	◎	○		○	
法律 分野	民法	M-LAW203	200	講義	4		民法について学ぶ。	民法に関する理解を深める。	◎	○	○		◎	
	労働法	M-LAW204	200	講義	4		現実の問題となっている事例を取り上げて実践に役立つ応用力を身につけるための学修を行う。	現実存在する問題に対応できるリーダー・マインドを身につけ、自分の意見を述べることができる。	◎	○	○		◎	
	国際法	M-LAW201	200	講義	4		国際社会で生じる具体的紛争に触れながら、解決の基礎となる国際法を学び現状と課題を考察する。	国際法の基礎概念を身に付けるとともに、それを用いて国際問題を法的に考察する力を身に付ける。	◎	○	○		◎	
	会社法	M-LAW301	300	講義	4		会社法について学ぶ。	会社法に関する理解を深める。		◎	◎		○	○
	行政法	M-LAW310	300	講義	4		「行政法」について基本的な知識や考え方を理解するための学修を行う。	行政法についての基礎を理解し、身近で重要な法律の一つである「行政法」の考え方を身につけ、自分の意見を述べるができる。		◎	◎		○	○
	手形・小切手法	M-LAW308	300	講義	4		手形・小切手法について学ぶ。	手形・小切手法に関する理解を深める。		◎	◎		○	○
	商取引法	M-LAW306	300	講義	4		商取引法について学ぶ。	商取引法に関する理解を深める。		◎	◎		○	○
会計 分野	簿記	M-ACC101	100	講義	4	○	簿記や会計学を学んだことがない初学者を対象に、簿記・会計の基礎を学修することを目的とする。	基礎的な用語・計算の理解、日商簿記3級レベルの学修内容の理解ができる。	◎		○		◎	○
	デジタルビジネスとアカウンティング	M-ACC103	100	講義	4	○	標準的な入門レベルの会計学を、コンパクトに解説するアカウンティング概論。そして、デジタルビジネスや会計トピックといったビジネスでの活用に関連する基礎的な内容を理解する。	初級レベルの標準的な会計学を修得し、より上級レベルの学習やその他の分析ツールの活用、及びビジネスにつなげる。	◎	○	◎		○	
	会計学概論	M-ACC104	100	講義	4	○	会計学を学ぶために、会計学の全体像を捉え、必要な基礎知識を幅広く得るための学修を行う。	会計情報が社会においてどのように役に立つのか、大きな見地から理解できる。	◎		○		◎	○
	財務会計論	M-ACC305	300	講義	4	○	会計の基礎的な知識を発展させ、わが国の財務会計に関する知識を広げ、深める。	財務会計全般を広く理解し、大学で会計学を学修した標準レベル以上に達する。		◎	◎		○	○
	財務分析論	M-ACC306	300	講義	4	○	会社の成績を表示している貸借対照表や損益計算書等の財務諸表の分析ができる簿記会計を学修する。	財務諸表を読む能力をためすビジネス会計検定試験の3級程度の知識を身につける。		◎	◎		○	○
	管理会計論	M-ACC302	300	講義	4	○	管理会計の概要を明らかにするとともに、具体的な管理会計手法を取り上げて、管理会計の理解を深める。	代表的な管理会計手法の利用方法およびその効果における概要を説明できる。		◎	◎		○	○
情報	情報学基礎	M-INF102	100	講義	2	○	コンピュータを制御するソフトウェアの動作について学び、動作を記述するプログラムについて理解する。	ソフトウェアの構成について説明ができること、プログラムを記述し、コンピュータの基礎的な制御をできる。	◎		◎		○	○
	プログラミング	M-INF103	100	講義	4	○	データサイエンスの基礎課題を解決するための分析力と、その分析を実践するソフトウェアの開発スキルの獲得する。	機械学習の代表的手法の特徴を説明できること、Pythonによるプログラム化による分析が活きる。	◎	○	◎			○
	情報社会と情報倫理	M-INF104	100	講義	2	○	高度情報社会とはどのような社会であるのか、その中で生じる情報倫理問題について理解する。	情報セキュリティや情報倫理に関する問題に正しい認識をた上でICTを健全に使いこなせる。	◎	◎				○
	機械学習	M-INF213	200	講義	4	○	機械学習手法の習得を目的に、代表的な手法を理解し、データを使った分析ができるようになることを狙いとする。	・クラスタリング、主成分分析などの代表的な機械学習手法について説明ができる。 ・統計解析ソフトを利用してデータ分析し報告書作成ができる。		◎	◎		○	○
	ビッグデータマネジメント	M-INF214	200	講義	4	○	データサイエンスの実践に求められるデータの生成、管理、前処理を行うために必要となるデータベース、ウェブ、ネットワークサービスについて知識と、開発スキルを獲得する。	インターネットを利用したデータ収集と、データベース(MySQL)を用いたビッグデータの管理、データ前処理について設計、基本的なプログラム化ができる。		◎	◎		○	○

授業科目 区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
				講義 演習 実習 PBL など					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
							授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指すし、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人としての活躍するための教養を身に着けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に着けている。	主に市場環境変化に関するデータを収集し、それをもとに論理的に思考し、市場問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができることと、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる
分野	ビジネス・アナリティクス	M-INF215	200	講義	4	○	ビジネスアナリティクスで使用する分析手法の習得を目的に、回帰分析、時系列分析を理解し、データを使った分析ができるようになることを狙いとする。	・回帰分析、時系列分析について説明ができる。 ・統計解析ソフトを利用してデータ分析し報告書作成ができる。		◎	◎		○	○
	ソーシャルメディア論	M-INF205	200	講義	4	○	IT社会を生きる市民に必要なメディアの進展への能動的態度を育み、ソーシャルメディアに関する知見を広めることを目指す。	ソーシャルメディアの種類、コミュニケーションモデル、メディア史、認知心理、AISAS等の知識を理解する。	◎	○		◎		
	データベース論	M-INF206	200	講義 (実習付)	4	○	ビッグデータ時代のビジネスマンやデータサイエンティストに必須のDBとデータ分析の基礎的知識技能の習得を目指す。	DBの概要、量的・質的データ分析(統計、テキストマイニング、GTA等)等の基礎的知識技能を獲得できる。	○	◎	◎		○	
	ウェブアプリ論	M-INF319	300	講義 (実習付)	4	○	インターネットとスマホ全盛時代のビジネスパーソンに必須のウェブやウェブアプリに関連する知識技能の習得を目指す。	ウェブの概要、コンテンツ制作、サーバー利用、アプリ制作(プログラミング)の基礎的知識技能を獲得する。	○	◎	◎	○		
	企業情報システム論	M-INF301	300	講義	2	○	企業の仕事を効率的に行うために、情報システムがどのような機能を備え、役に立つか理解する。	情報システムが企業で利用されている実際の姿を知る。あわせて情報にかかると倫理観を身につける。		◎	◎		○	○
データサイエンス分野 (実践連携科目)	マーケティング・アナリティクス(MAP)実践Ⅰ	M-DSC301	300	講義 演習	4		マーケティング分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	マーケティング分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	MAPプロジェクトⅠ	M-DSC302	300	演習	4		マーケティング分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	マーケティング分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	マーケティング・アナリティクス(MAP)実践Ⅱ	M-DSC303	300	講義 演習	4		マーケティング分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	マーケティング分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○		
	MAPプロジェクトⅡ	M-DSC304	300	演習	4		マーケティング分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	マーケティング分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	ファイナンス・アナリティクス(FAP)実践Ⅰ	M-DSC305	300	講義 演習	4		ファイナンス分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	ファイナンス分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	FAPプロジェクトⅠ	M-DSC306	300	演習	4		ファイナンス分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	ファイナンス分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	ファイナンス・アナリティクス(FAP)実践Ⅱ	M-DSC307	300	講義 演習	4		ファイナンス分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	ファイナンス分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	FAPプロジェクトⅡ	M-DSC308	300	演習	4		ファイナンス分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	ファイナンス分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	サプライチェーン・アナリティクス(SAP)実践Ⅰ	M-DSC309	300	講義 演習	4		サプライチェーン・マネジメント分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	サプライチェーン・マネジメント分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	SAPプロジェクトⅠ	M-DSC310	300	演習	4		サプライチェーン・マネジメント分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	サプライチェーン・マネジメント分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	サプライチェーン・アナリティクス(SAP)実践Ⅱ	M-DSC311	300	講義 演習	4		サプライチェーン・マネジメント分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	サプライチェーン・マネジメント分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	SAPプロジェクトⅡ	M-DSC312	300	演習	4		サプライチェーン・マネジメント分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	サプライチェーン・マネジメント分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	起業・社会・アナリティクス(ESAP)実践Ⅰ	M-DSC313	300	講義 演習	4		起業・社会インフラ分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	起業・社会インフラ分野の実践において必要な幅広い知識を習得することと、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				講義 演習 実習 PBL など			授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を担いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指す、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に着けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に着けている。	主に市場環境変化に関するデータを収集し、それをもとに論理的に思考し、市場問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができることと、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる。	市場を起点として、社会に関する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している。	ビジネスマインドを有した社会人としての責任感・倫理観をもち、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる。
	ESAPプロジェクト I	M-DSC314	300	演習	4		起業・社会インフラ分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	起業・社会インフラ分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
	起業・社会・アナリティクス (ESAP)実践 II	M-DSC315	300	講義 演習	4		起業・社会インフラ分野の経営問題に、データサイエンスを適用するために必要な知識について講義を受け、ビッグデータを用いて演習し、実践的な問題解決ができるようにする。	起業・社会インフラ分野の実践において必要な幅広い知識を習得すること、実際にビッグデータを処理、分析する経験を経て、問題解決の一連のアプローチを取得すること。		◎	◎	○	○	
	ESAPプロジェクトII	M-DSC316	300	演習	4		起業・社会インフラ分野でビッグデータを処理する必要がある経営問題を学生グループで、基礎的な知識をどのように応用するかを考えて、解決することを学ぶ。	起業・社会インフラ分野でデータサイエンスの基礎的な知識を実践に活用できるようにすること、問題解決におけるグループダイナミクスを理解すること。			◎	◎	○	○
専門関連科目	基礎数学	M-SCI104	100	講義	2	○	データサイエンス手法の理解に必要な数学的能力の獲得を目的に、高校数学の範囲を理解し、演算できるようにすることを担いとする。	・数列、極限の概念を理解し演算ができる。 ・微積分の演算ができる。 ・ベクトル、行列の演算ができる。	◎		○	○		
	確率・統計	M-SCI105	100	講義	4	○	データサイエンス手法の理解に必要な数学的能力の獲得を目的に、確率と統計を理解し、演算できるようにすることを担いとする。	・標本空間、確率、確率変数、確率密度関数、分布関数の概念の説明や演算ができる。 ・統計的推定、統計的仮説検定の概念の説明や演算ができる。	◎		○	○		
	数学入門	M-SCI103	100	講義	4		集合と論理、いろいろな関数などについて学修し、それらがどのように利用されているのかを学ぶ。	体系的な知識を身に付け、意識しながら、その知識を利用できるようにする。	◎	◎	○		○	
	異文化ワークショップ	G-OHM129	100	講義	4	○	文化・異文化を扱う協働学習を通じてグローバル人材に必要とされる異文化間能力の向上を目指す。	自らの考え方や感じ方を客観的に捉えながら文化を批判的に考察することで異文化に対する感受性を高める。	◎			◎	○	○
	社会史A	M-OHM101	100	講義	4		日本近世における都市の成立事情や基本構造、歴史的展開過程を紹介した上で、都市民衆世界の実態について学ぶ。	現代社会が抱える諸問題を発見しその解決を図るための基礎的な能力を養う。	◎	◎	○		○	
	社会史B	M-OHM102	100	講義	4		近世のヨーロッパ社会および東ヨーロッパを対象に総体としてのヨーロッパ世界を構成する諸要素を理解する。	政治・経済と社会の関係を理解し、政治・経済等の表層的なでき事を掘り下げ、長い歴史によって培われてきたヨーロッパの深層を成す心性を理解できる。	◎	◎	○		○	
	金融リテラシー	M-ECN236	200	講義	2		標準的貯蓄・投資手段のリスク・リワード構造理解を通して、金融市場におけるリスク対リターンへの座標軸を身につけ、ビジネス社会で活躍するための金融リテラシー向上を目指す。	①標準的貯蓄・投資手段の現状及び過去パフォーマンスを観察することを通じ、リスク・リワードの座標軸を体得する。 ②投資の標準的スタイルを観察し、簡単な数値計算を行うことで、複利効果や分散効果等の意味・効果を理解できるようにする。 ③各種金融リスクの基本構造を、市場データや、簡単な計算事例等を通じて理解・確認できるようにする。 ④バブルや投資詐欺など、過去の極限的現象を学び、異常性を感知できるようにする。	◎	○	○		◎	
	金融/財務の実務的基礎	M-ECN238	200	講義	2		株主、経営者、債券投資家、各種金融機関の目的・行動原理に応じた金融・財務思考法の差異を理解していくことで、ビジネス・パーソンとしての金融/財務基礎力涵養を目指す。	①企業評価モデルを概観し、長期視野にたった財務分析について理解する。長期予測の限界と、市場参加者の対応についても理解できるようにする。 ②株主、経営者、債権者それぞれの目的、思考法、財務行動原理を理解できるようにする。 ③多様な債権・債務関係に対応した金融行動・信用分析を確認し、目的に応じた着眼点・予測期間の設定、ソリューションの選択肢を検討できるようにする。	◎	○	○		◎	
	環境問題とビジネス	M-MNG302	300	講義	2		環境問題が、企業活動にどのような影響を与えているのか、排出権ビジネスの浮き沈み・再生可能エネルギー・バブル・エコカー競争などのケースを通じて学修する。	企業の環境・エネルギー関連ビジネスについて、事業戦略・マーケティングを考える際の基本的な知識を習得する。	○			◎	◎	○
	交通論	M-ECN313	300	講義	4	○	交通が生み出す「社会的費用・公害」の特質を学び、適切な分析手法とその抑制政策について学ぶ。	基礎的な経済学の理論から派生させ、交通システムに関し合理的な説明が可能になる。	◎	○	◎		○	
	立地論	M-ECN337	300	講義	4		農業・鉱業、製造業、サービス業が、経済活動の場である立地をどう選択するか、経済地理学も応用し学修する。地理的な空間に加え、活動の「場」・空間・位置関係等も分析対象とする。	農業立地、工業立地、商業立地等の産業別立地に関する学修成果を報告できる。産業集積、空間経済、都市システムなどのテーマについて主体的学修・ディスカッションを通じて意見を言える。	◎	○	◎		○	
	ビジネス・ソリューション	M-MNG204	200	講義 (実習付)	4	○	実際の企業が抱えている経営課題に基づいて、様々な課題解決支援のツールを学び活用することを通して、課題解決能力を高める。	職業観を醸成すること、社会的ニーズの高い課題解決能力、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を高めること、学問横断的な知識の活用方法を習得する。			◎	◎	○	○

授業科目 区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目 種別	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				講義 演習 実習 PBL など					授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	ビジネスマインドを有した社会人として活躍するための教養を身に着けている。	市場環境変化への適応において必要とされるICTを含む多様な専門知識を身に着けている。	主に市場環境変化に関するデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、市場問題の解決を実践的に図ることができる。	国内外のビジネスシーンにおいて、さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができることと、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる
	ビジネス英語	M-ENG203	200	講義	4		ビジネスで使う英語の特徴は何か、一般の英会話・英文読解・英語ライティングとの相違等を学習する。ビジネスの相手に、丁寧な表現・専門知識に基づく英語・複雑な内容を適切に伝えられる英語を学習する。	ビジネスには品格のある英語で相手の信頼を得る必要があるので、そうした英語力の修得を目指す。ビジネスコミュニケーションに必要な適切な表現・専門性・正確さ・分かりやすさを備えた英語の基礎を修得する	◎			◎	○	○
	ビジネス中国語	M-CHN201	200	講義	4	○	中国の文化や商習慣等を勉強しながら、ビジネスにおいて必要とする実践的な中国語を学習する。	「契約・発注」などのビジネス文章から、お礼や年賀状など日常生活に欠かせない文章まで、様々な場面での表現をマスターできる。	◎	○		◎		○
	ビジネススペイン語	M-SPN201	200	講義	4		様々な分野のビジネスにおいて、どの場合にも共通するコミュニケーションの表現方法を学ぶ。	各場面に応じたビジネス表現を習得しスペイン語で円滑なコミュニケーションが取れる。	◎	○		◎		○
	スポーツ英語	M-ENG202	200	講義	2		スポーツと言う世界共通のエンターテインメントプログラムを教材にして親しみやすく分かり易い英語学習をする。	スポーツ関連の基本的な英文の読解、聴き取り・発話などの能力を身に付け、海外で活躍する選手が身につけておくべき英語力を涵養する。	◎			◎	○	○
	専門外国書研究(英語)	M-MNG314	300	講義	2		専門外国書(英語)の研究を行う。	専門外国書に基づいた研究を行うことができる。		◎	◎		○	○
	商学部特殊講義A	M-CME305	300	講義	2		商学に関連するテーマを学ぶ。	商学に関する理解を深める。		◎	◎		○	○
	商学部特殊講義B	M-CME306	300	講義	4		商学に関連するテーマを学ぶ。	商学に関する理解を深める。		◎	◎		○	○